



「6期24年間 有難うございました」

小林やすお

今月のマンスリーは私事ではありますが、地域と千代田区政に関係するので報告させていただきます。

千代田区議会議員として、6期24年間 千代田区議会の自由民主党議員として務めてまいりましたが、現在の任期であります令和5年4月末をもって引退することと致しました。皆さまには、任期中ご理解ご協力を御礼申し上げます。

「子育て・教育応援給付金 5万円」(0歳～18歳)

今定例会での補正予算(案)に、物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担を軽減する観点から、子育て・教育に係る経費をサポートするため、子育て・教育応援給付金を**対象児童1人につき5万円**を支給するための追加予算が計上されました。

対象者は、区内に住む0～18歳の子どもを養育する保護者、対象児童数は12,000人で給付額は6億円、事務経費は1千7百万円です。予算特別委員会では、この議案を含む全ての補正予算(案)が賛成全員で可決されました。

給食費無償化について

共産党から

「給食費の助成に関する条例」の議案が提出されました。

その条例案には

「学校給食の助成金の交付を受けることができる者は、**区立学校に在籍する児童又は生徒の保護者**とする」とあります。



自民党では

- ① 区内の子どものうち一定数は私学に通っており、**公立の学校のみ給食費を無償化すると不公平感がでる。**
- ② 現在、区は給食費の一部を補助していて、給食費自体は保護者が負担、学校は私費会計で各食材納入業者と契約している。全額補助になった場合は公会計となり、区で一括購入の契約になるので小規模な区内の納入業者への圧迫につながる。

① ②等の理由から給食費無償化に係る共産党の議員提出議案は、常任委員会では否決されました。

この**区民対象の「子育て・教育応援給付金」5万円のなかで給食費も賄っていただきたいと考えます。**